

## 特別展「祖父江慎+コズフィッシュ展：ブックデザイン」 後期「ish編」開催のお知らせ



『吾輩は猫である』装丁案

2016年1月23日から開催中の特別展「祖父江慎+コズフィッシュ：ブックデザイン」は展示替えを行い、2月16日（火）より後期「ish編」を開催いたします。

コズフィッシュ 20 世紀書庫が 21 世紀書庫へと様変わり。

金属活字から写真植字、そして DTP へと、1980 年代以降印刷技術はどんどん変化してきましたが、技術の発展に伴い変化するデザイン、変わらないデザインと、さまざまな顔を目撃することになるでしょう。

また『心』新装版の創作過程を、漱石自筆原画などを基に紹介する漱石部屋。後期では現在まさに制作途中にある『吾輩は猫である』新装版を中心に紹介します。橋口五葉による斬新で心ときめく装丁の初版本と袖珍本——祖父江氏による新装版は五葉の意をくんだものになります。五葉のデザインと、これまでに出版された数々の『吾輩は猫である』を研究しつくした結果が反映されたユニークな展示となります。

前期から更にパワーアップしたコズフィッシュワールドを是非お楽しみください。

※タイトルは「ブックデザイン」ではなく「ブックデザイ」です。

- 会 期 後期「ish編」～3月23日（水）まで  
※休館日：3月21日（月・祝）
- 観覧時間 平日 10:00～20:00、土 10:00～19:00、日祝 10:00～17:00  
（入室は閉室の 30 分前まで）
- 会 場 千代田区立日比谷図書文化館 1 階特別展示室
- 観 覧 料 一般 300 円、大学・高校生 200 円  
千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料  
※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。
- 主 催 千代田区立日比谷図書文化館
- 共 催 公益財団法人 DNP 文化振興財団

## 《 展示構成 》

- **コスフィッシュの書庫**  
後期展示=21世紀の書庫  
祖父江慎+コスフィッシュによる2000冊を超える全装丁本のうち、2001年以降に出版された本を展示。
- **本の実験室**  
迷う脳みそ、紙の背骨、文字を並べる、刷っちゃう 盛っちゃう、凸や凹や口、本の寿命、闇で見る、音のカタチ——  
本造りのさまざまな工程をユニークにテーマ分けして紹介します。
- **漱石室**  
現在制作中の『吾輩ハ猫デアル』新装版に関連した展示がお目見え。



前期展示の様子（コスフィッシュの書庫）

## 《 後期の出展作品より 》

コスフィッシュが数多く手がける模図作品からは『恐怖』『漂流教室』などを展示。またカナモジカイの金属活字「ツル5号」を基に祖父江氏によりフォント化されたかな書体「ツルコズ」の部屋が登場します。

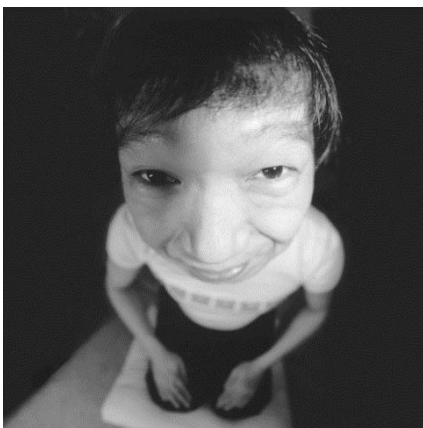


模図かすお『恐怖』①② 小学館 2006



かなバンク「ツルコズ」フォント タイプバンク 2012

## 《 プロフィール 》



### 祖父江 慎（そぶえ しん）

グラフィックデザイナー。コスフィッシュ代表。1959年愛知県生まれ。多摩美術大学に入学するが、杉浦康平に憧れ、在学中の1981年から工作舎でアルバイトを始め、大学中退。在学中は漫画研究会に所属、先輩にしりあがり寿、喜国雅彦がいた。1987年工作舎退社。秋元康が設立した株式会社フォーセールでアートディレクターを務め、1988年独立。1990年コスフィッシュ設立。人文書、小説、漫画などの書籍の装丁やデザインを幅広く手がける。吉田戦車の漫画本をはじめとして、意図的な乱丁や斜めの断裁など、装丁の常識を覆すデザインで注目を集める。

近年、「スヌーピー展」「ルパン三世展」「ゲゲゲ展」「ゴーゴーミッフィー展」など、展覧会のグラフィック、アートディレクションを手がけることも多く、展覧会グッズでは独特の感性を爆発させたユニークな商品を開発している。

《 画像の使用につきましては「画像申請書」をご用意しております。ご希望の場合には広報担当までご連絡ください。》

【お問い合わせ先】 千代田区立日比谷図書文化館  
広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp / 学芸員：柘瀨 masubuchi-shotaro@shopro.co.jp  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL:03-3502-3342 / FAX:03-3502-3341